

こうとう民報

2012年4月号 90

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 江東区民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155 FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/

吉田としお

(64歳)



いのちを守る政治を

日本共産党江東地区委員会は4月4日、予想される総選挙にあたり東京15区小選挙区予定候補として吉田としお日本共産党江東地区委員長・国政対策委員長の擁立を決定したと発表しました。

私の決意 吉田としお

民主党政府は、長びく不況や大震災と原発事故による放射能汚染による国民の困窮と不安を顧みず、自民・公明とともに、いつそつくりと経済を破壊する「社会保障と税の一体改革」で社会保障削減、消費税増税を強行しようとしています。日本共産党は不要不急な大型公共事業・軍事優先のムダ遣いや大企業・大資産家の優遇税制をやめ、増税なしでも社会保障を拡充し、経済・景気回復を図る提案を示しています。私は福島を故郷とするものとして、原発再稼働を許さず、被災地復興のためにも、いのちとくらしを守る政治をめざして全力を尽くします。

プロフィール

1948年福島県生まれ。三協基礎研究所 南双工機勤務 1969年入党 1973年共産党江東地区委員 勤務 消費税をなくす江東の会事務局長。2011年地区委員長、国政対策委員長。趣味は登山。



経済活性化 暮らし・福祉 守る予算修正案を提出

日本共産党区議団は、本会議や委員会での質疑、提案にもつき一般会計予算に対する修正案を提出しました。区長提案額1.614億9.100万円に対し、修正額は2億8千万円余、1.2%の増額です。以下共産党区議団の修正案の主な内容は次の通りです。

- △夕を一掃 基金の活用
- △不要不急の事業削減と住宅のリフォーム助成
- △地域経済活性化と大地震対策の強化
- △仕事確保を目的に民間保育園の増設 特養ホー

適正な下請け単価と賃金保障のための公契約条例制定させます。

また津波・高潮対策促進のための調査研究費、耐震シェルター設置助成やマンシヨンの耐震改修の補助引き上げて大地震対策の強化を提案しました。

△整備のための調査を盛り込みました。また中国残留邦人生活支援センターの開設時間延長、難病患者への福祉タクシー券支給、生活保護のケースワーカー16名増員を図るものです。

△介護保険料の負担軽減や重度介護手当、高齢者入院助成金の支給、認可保育園の増設、特養ホー

助など商店街支援策を拡充します。

教育環境整備 教育の機会均等とより良い環境を整備するため、小1支援員の通年配置、就学援助の拡充、学校図書配置の拡充、幼稚園にクレーン設置、学校用務や警備員、図書館窓口業務の民間委託を中止させます。



蓮池透氏の講演に反響

3月20日、江東母親大会が総合区民センターで開催されました。全体会で蓮池透元拉致被害者家族会連絡会副会長が「拉致も原発も左右の垣根を越えて」をテーマに講演、大きな反響を呼びました。



オープニングのあと、大会事務局長の伊原静江さんは「生命を大切にす、普通に暮らしていける政治がいま必要です。そのためにも私たちは正しい知識を身につけましよう」と開会挨拶をされました。

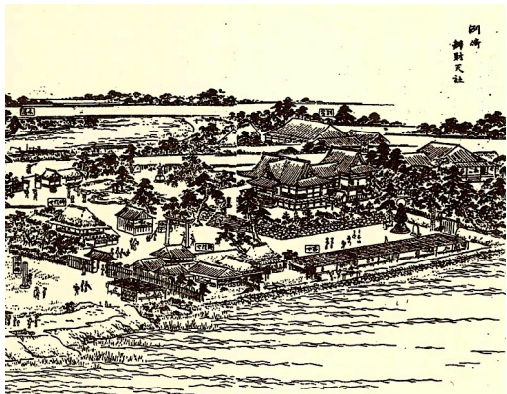
午前中は、「拉致」も「原発」も左右の垣根を越えて」をテーマに蓮池透さん(元東京電力原子燃料サイクル部長でもあった)が講演。「東電はこれから賠償金を払っていくためには利益を上げなければならぬ。だから電気料金の値上げは当然。そして原発再稼働に走ることに」



桜が満開になるとしている日本列島は異常な緊張感に覆われていました。北朝鮮「金王朝」の世代交代の祝砲となるロケット発射が予告されていたからです。政府はこの時とばかり、首都東京、沖縄の島々に迎撃ミサイルを配備、イージス艦3隻を待機させました。しかし、そのロケット発射は150キロ上空で爆発、黄海に落下。「強盛大国」をめざす先軍政治は、飢えて

いる国民の1年分の食料にあたる700億円を海の藻屑にしてしまったのです。過剰反応といわれた防衛省の記者会見は発射から45分も後でした。この遅れは致命的。ちなみに09年のテポドン発射の際は7分後に日本海、13分後には第2弾が太平洋に落下しました。当時のアメリカは、本国を目標としているのを危惧して、日本海側に強力なXバンドレーダーを配置したが、今回は人工衛星による監視にとどめませんでした。この対応の違いは、日本本土の米軍基地が日本を守るのではなく、アメリカの前線基地であることを示唆しています。いま日本は放射能汚染や経済危機に直面し、餓死・孤立死も社会問題になっていきます。いのちとくらしを脅かす原発再稼働や消費税増税をなんとか中止させなければなりません。6月にも予想されている総選挙はそのチャンスです。

「越中島と十万坪」



洲崎弁財天社（江戸名所図会）

概説

江東の歴史

(9)

江東区の開発第4期には、享保（1716～36年）以後隅田川東岸の越中島、古石場、牡丹町、洲崎、平井などが開発されました。

越中島は河口の州で、榊原越中守の別邸があったことで名づけられました。その後、度々の風水害で荒地になり、石置場になったことが古石場の地名のおこりです。1711年には隅田川の川ざらいの土で復旧し、旗本、御家人の屋敷地として越中島町となり、周辺の州も埋立てられ人足寄場などにもなりました。

1756年、商人平助と僧普融が越中島の東南を開拓して越中島新田をひらき、享保以後の埋立て地は約4万坪に及びました。

1781年頃、越中島の東に阿波徳島藩蜂須賀家の別邸雀林荘がつくられ、その周辺での牡丹栽培が多く、地名のもとになりました。

洲崎には1700年、弁天社と吉祥寺があり門前町ができて、潮干狩りや船遊びなどで賑わいましたが、1791年の大津波で荒廃、明治になってから根津遊廓が移され、洲崎弁天町となります。

深川洲崎10万坪は1704年以後に干潟を江戸市中のゴミで埋立てられたもので、近江屋庄兵衛と井筒屋万蔵がそこで新田を開発し、近江屋の姓千田氏にちなんで千田新田と名づけられました。

10万坪の北の毛利町には幕府の材木蔵が置かれ、1722年、伊勢屋藤左衛門がその半分を占めていた入堀を埋め立てて新田を開発し、藤左衛門の姓毛利氏を地名にあてました。

10万坪の南（現東陽4、5丁目）も1765年、平井満右衛門と虎五郎が江戸城の堀浚いの土で埋立て、平井新田としました。一時は塩田がつくられました。しかし潮の便がわるく廃止されましたが、塩浜という俗称は残っています。

原発なくし放射能から子どもたちを守ろう！
区民パレードで「さよなら原発」をアピール！



4月15日、区民要求実現大運動実行委員会の呼びかけで「原発なくす江東区民パレード」が森下公園で開催され、18団体250名の区民が集まりました。

民主党政権はわずか3日間の関係閣僚会議で新たな「安全基準と安全対策」を決め、大飯原発の再稼働に躍起になっ

浪江町から江東区に避難してきている方は「国は国民が安心できる生活を保障する義務がある。原発再稼働は許してはならない」「子、孫と家族がバラバラの生活を余儀なくされている。原発はもういい」と訴えました。環境カウンセラーの権上か

おるさんは「5月5日には泊原発が定期点検で停止し、すべての原発が止まります。福島第一原発事故に政府は収束宣言を出しましたが、全ての号機が危険な状況下にありま

「1日も早く、脱原発・原発ゼロを！」とのアピールを全体の拍手で採択し、参加者は深川公園まで、デイキシーランドバンドを先頭にパレードを行い「さよなら原発の声をみんなであげましょう」と道行く人たちに呼びかけました。

「大手の下請け切り下げを許さず、大幅賃上げを求めたい」（アサガミプレスセンター労組）、「区の行政改革の民間委託で区民サービスを切り捨てようとしている。新採用職員100%の組合加入をめざす」（江東区職労）

ミプレスセンターまでデモ行進。昼休み時の街行く人びとに大幅賃上げ、消費税ノーマット・アルバイト非正規労働者向け宣伝行動



春闘勝利昼デモ

江東区労連は2月15日に「2012江東区国民春闘共闘委員会」を結成し、17労組・60名が参加しました。結成集会以後は、宣伝活動など様々な取り組みを広がっています。

江東区労連青年部 青年労働実態アンケートを実施。その結果をもとに、いま青年が仕事に生活に何を求めているのか、みんなで話し合いました。

4月19日、全日本年金者組合江東支部は、東陽町西友前で「消費税増税・年金引き下げ反対」宣伝・署名活動を行いました。

高齢者・弱い者いじめの「消費税増税・年金引き下げ反対」宣伝行動

行事日程
5月6日(日) 「国民平和大行進出発集会」
5月13日(日) 江東年金者組合17回定期大会
5月27日(日) 江東区労連第22回定期大会